熊歯会報

3
2007

Kumashi Kaihou

2007年3月15日
No.611

熊本県歯科医師会

熊歯会報 3月号

2007

歯科医師の倫理綱領

われわれ歯科医師は、日頃より歯科医学および歯科医療の研鑽を通じて培った知識や技術をもって、人々の健康の回復と疾病の予防のために貢献するものである。

一、専門職として歯科医学と歯科医療の発展のために尽くし、医療倫理の実践に務める。

一、専門職であることを念頭に、法を遵守し適切な説明を行い、常に愛情を持って患者のために社会的使命を果たすように努める。

一、自己の知識、技術、経験を社会のために提供し、社会福祉および国民の健康向上のために努める。

社団法人　日本歯科医師会

— 表紙に寄せて —

ひなの寺として名高い専徳寺（球磨郡相良村）では、住職が娘さんのために雛人形を買われたのをきっかけに収集を始められ、40年の歳月をかけ集められた全国各地の珍しい雛人形が3000体以上展示されている。

（H.K）

もくじ

巻頭言　センター・調査・IT　松岡拓治 ……3

理事会 ……4・5

学院増設・改修工事 ……6〜9

委員会だより（学術・センター・調査・IT）‥10・11

郡市会だより ……12〜15
（球磨・水俣芦北・人吉・八代・荒尾・玉名・鹿本）

グルメハンター……16

会務報告……16〜18

編集後記

「やさしい国」を目指してほしい

センター・調査・ＩＴ　松岡　拓治

昨年４月の診療報酬改正ではこれまでにない変化があり、しばらくはこの話題でもちきりでした。しかし変化はこれだけではありません。介護保険も３年ごとの見直しの年にあたり、新予防給付が導入され、われわれのテリトリーである口腔機能の向上がうたわれました。ただ、その運用に課題が残りほとんど実行されないのは残念でしたが、これに対してはこの４月にささやかな変更が予想され、それに期待したいと思います。

同時期に施行された障害者自立支援法も10月には本格的に適用されています。ほとんどのケースで障害者側の負担増加となり、とくに施設入所者では年間30万程度の出費増加がうわさされています。多くの障害者の医療費は公費負担でしたが、これも原則1割負担となりました。このシステムはほぼ介護保険のものを踏襲しています。いずれは障害者関係の医療、福祉関係の制度も介護保険と統合されるそうです。平成12年から始まった介護保険は高齢化社会を考慮したもので、そのシステムはこれからいろんな方面で応用されると思われます。

平成20年４月からはじまる後期高齢者医療制度も各所で介護保険のそれがうかがわれます。しかもますますエスカレートする高齢化にあわせて見直しのサイクルは２年となりました。医療費が増えれば被保険者の負担が増えるというもので、厚生年金の受給者の場合減額措置がないために、介護保険と医療保険をあわせた負担額が月あたり１万円を超える日は遠くないでしょう。

８月には医療福祉関係者にとって驚くべきニュースがありました。特定疾患として医療費が公費補助されている潰瘍性大腸炎（クローン病）とパーキンソン病について、対象を重症者に絞るというのです。特定疾患とは、原因不明で治療法が確立していない難病のことで、特に治療が困難なうえ患者数が比較的少ない４５疾患に医療費の補助があります。重症者は無料で、重症者以外は収入に応じた自己負担となり、上限は月２万3100円です。患者数が少ないと、治療薬が大量生産できず医療費が高額になり、治療できる医療機関も少なく通院が困難というのがその理由です。患者数５万人未満が医療費補助の目安ですが、潰瘍性大腸炎が約８万人、パーキンソン病は７万3000人で、いずれも６～７割は軽症と言われています。両疾患の補助対象を重症者に限れば、補助総額240億円のうち40億円近くを削減できるそうです。

いくら軽症者といっても生活にはそれなりの制約があり、いままで補助があったのにいきなり打ち切られるのではたまりません。４０億円くらいなら他にも削減するところはいくらでもありそうです。

聖域なき改革とはこんなことではありません。「美しい国」も結構ですが「やさしい国」も目指してほしいものです。

理事会報告

学院増設・改修の終了で一連の会館建設が完結

― 第12回理事会 ―

１月30日（火）午後６時より県歯会館第１会議室にて堤会長ほか竹下理事を除く全役員と有田連盟幹事長出席のもと議長を堤会長、議事録署名人を伊藤、八木理事として開催された。

堤会長あいさつ

本日、学院の建築現場で、境界線の確認などを行って参りました。２月17日開催の会館建設特別委員会で、増設・改修部分を見ていただき、大丈夫であれば、同委員会の役目はほぼ終了ということになります。会館建設が動き出してからは３年程になりますが、平成元年に学院の施設・設備の問題が提起されてから、様々な議論を経て現在までに19年もの歳月が流れました。一連の会館建設が終了しようとしていることに感動を覚え、感慨無量であります。

医療分野も国民皆保険制度が始まって約50年が経過し、曲がり角の時期にさしかかっています。大変な時代ではありますが、一緒になって本会の会務運営に臨んで行きたいと思いますので、ご協力の程よろしくお願いいたします。本日は、現執行部で作った予算を協議題としてあげております。慎重審議をよろしくお願いいたします。

会務報告（自：12月11日～至：１月25日）

総　　務：理事会、常務理事会、日歯理事会、日歯常務理事会、100周年記念史編集委員会、九州各県専務理事会
学　　術：マウスガード研修会、海外技術研修員等閉校式
社会保険：社会保険関係者賀詞交換会
地域保健：県歯科保健推進会議ワーキング部会、各郡市地域保健担当者会
厚生管理：厚生管理講演会
広　　報：熊歯会報、モニター会議
学校歯科：学校歯科医研修会
医療対策：医療相談苦情事例報告
センター・調査・IT：障害児（者）口腔ケアリーダー研修会、介護者歯科実技研修会
学　　院：臨床実習場反省会
国　　保：九歯連役員会・協議会

会務報告その２

１．日歯報告

堤会長より、日歯の会議等で入手した資料の中から抜粋したものが提出された。合わせて、各役員は一読のうえ、各担当所管で関わりのある資料は特に熟読し、検討が必要なものは打合せ会を開くなどして対応するようにとの指示があった。

２．レセプトオンライン化

日医も日歯も2011年から予定されているレセプトのオンライン請求の全面義務化には反対の立場である。

３．退会会員

○那須キヌ会員（球磨郡）平成19年1月13日付・死亡退会

４．役員・委員の推薦依頼

○財団法人熊本さわやか長寿財団理事
堤　直文会長（平19.4.1～平21.3.31）
○熊本県高齢者保健推進協議会委員
小島博文副会長（就任日～平20.3.31）
同　生活習慣病部会委員
伊藤明彦理事（就任日～平20.3.31）
同　地域リハビリテーション推進協議会委員　松岡拓治理事（就任日～平20.3.31）

５．講師の推薦依頼

○熊本県栄養士会・生涯学習研修会「介護予防―口腔ケアと低栄養対策」
松岡拓治理事

６．名義後援の依頼

○日本口腔インプラント学会・第37回学術大会開催（平19.9.14～16　於：熊本市）

７．診療所閉院に伴う会費（所得割）免除

熊本市と阿蘇郡市の会員計２名の閉院届出を受理し、収入割会費の徴収を２月より中止する。

８．本会創立100周年記念事業

来賓者は最終的に堤会長に決定してもらうこととした。

記念品は箸に決定し、全会員と来賓者に配布することとした。

会員診療所従業員表彰は、１月末の発送で会員にお知らせし、２月末までに該当者名簿を提出してもらうこととした。

９．日本法歯科医学会（仮称）設立に伴う入会案内

堤会長と吉田副会長の２名が入会し、ほかに入会を希望する役員は事務局まで申し出てもらうこととした。

10．口腔保健センター・年末年始診療の状況

受診者数は、16・17年度とほぼ変わらなかった。今年度より診療スタッフを減員したが、特段問題がなかったことにより、次年度も今年度と同様の態勢で臨むこととした。

11．熊本県歯科医師会モニター会議

２月24日土曜の午後３時より、県歯会館において開催することとした。

12．学術委員会提出事業企画書

学術委員会から提出された３つの講演会の開催を承認した。

13．臨時職員の採用

○大田黒まみ（期間平19.1.16～平19.10.31）

臨時職員
大田黒まみ

14．電気・水道使用料金（11月・12月）

節電・節水の取り組みの効果が表れ、前年に比べて電気・水道とも使用量が減少した。引き続き、節電・節水に取り組んで行くこととした。

15．定期清掃の実施

12月23日・24日に新会館になって第１回目の定期清掃が行われた。今後、半年に１回（６月・12月）のペースで実施する予定である。

16．第二期工事工程会議

工事の大部分は終了し、検査で問題がなければ、２月20日（火）には引き渡される予定である。

17．各会計12月末現況

18．その他

協　議

１．新入会員の承認　〔承認〕

阿蘇郡市の一般会員１名の入会を承認した。

２．平成18年度各会計補正予算（案）〔承認〕

原案について承認し、通常代議員会並びに通常総会に議事として提出することとした。

３．平成18年度新設会計収入支出予算（案）〔承認〕

原案について承認し、通常代議員会並びに通常総会に議事として提出することとした。

４．平成19年度各会計収入支出予算（案）〔承認〕

原案について承認し、通常代議員会並びに通常総会に議事として提出することとした。

５．平成18年度通常代議員会日程（案）〔承認〕

３月17日（土）午後２時より、県歯会館４階ホールにおいて、提出された日程（案）にしたがい開催することとした。また、議事として学院学則の改正（案）も追加することとした。

６．平成18年度通常総会日程（案）〔承認〕

３月17日（土）概ね午後５時より、県歯会館４階ホールにおいて、提出された日程（案）にしたがい開催することとした。なお、総会終了後に４階ロビーを使用して、会員懇談会を開催することとした。

７．くまもと歯の健康文化賞（基金）委員会規程の一部見直し　〔承認〕

原案について承認し、１月31日より施行することとした。

くまもと歯の健康文化賞（基金）委員会規定の一部改正

現行	改正
（基金及び会計） 第８条　基金は、これを浪費し、又は担保に供しないものとする。ただし、委員会の事務遂行に止むを得ない事情があるときは、委員会及び本会理事会の承認を得てその一部を処分することができる。 第18条　委員会は、次の事項を審議決定する。 （１）表彰及び表彰金の交付に関すること。 （２）会則の制定改廃に関すること。 （３）その他委員長が付議した事項。	（基金及び会計） 第８条　基金は、これを浪費し、又は担保に供しないものとする。なお、事業遂行に止むを得ない事情があるときは、本会理事会の承認を得て園一部を一時流用することができる。ただし、その年度内に戻入しなければならない。 第18条　委員会は、次の事項を審議決定する。 （１）表彰及び表彰金の交付に関すること。 （２）削除 （２）その他委員長が付議した事項。 附則 ６．この規程は、平成19年１月31日から施行する。

８．対外的広報活動の取り組み　〔継続〕

理事を対象としたアンケート結果をもとに、様々な議論が交わされた。今後、理事で検討を重ね、また、モニター会議においてモニターの意見を聴しながら、具体的な取り組みを煮詰めていくこととした。

９．事務局の効率化について

事務局を現在より効率的に働きやすい環境に整えるため、外部の人間を交えた検討会を開催していく方向で進めていくこととした。

10．その他

11．２・３月当面の行事予定

小島副会長から確認があった。

（広報　宮坂圭太）

熊本歯科衛生士学院
増築完成

増築部分全景

学院施設増設・改修工事進捗状況

［平成18年］

6月28日　旧会館解体・学院増設・改修工事神事（お祓い）
7月3日　旧会館内部解体工事開始
7月24日　旧会館外部解体工事開始
8月2日　学院既存建物改修工事開始
8月21日　旧会館基礎部分解体工事開始
8月29日　旧会館解体工事終了
8月31日　学院増設仮囲い
9月3日　同　杭打ち（～13日、42本）
9月24日　同　配筋、型枠
10月4日　同　基礎コンクリート打設（80㎡）
10月14日　同　鉄筋建て方
11月1日　同　屋根ステン鋼板葺き
11月～12月　学院既存建物外部補修（クリーニング、シール打ち、ウレタン吹付、看板取付等）
12月20日　学院自転車小屋組

［平成19年］

1月5日　学院既存建物2階壁斫解体工事
1月9日　増設学院敷地外溝アスファルト、門扉撤去
1月22日　同　犬走り、フェンス基礎。門柱コンクリート工事
1月31日　同　門柱、花壇タイル貼り
2月13日　施主検査
2月20日　建物引き渡し

学院増設・改修工事

旧会館外部解体工事

杭打ち

基礎コンクリート打設

鉄筋建て方

学院看板取り付け

増設部外部クリーニング

増設部外部足場解体終了

外溝工事

駐輪場完成

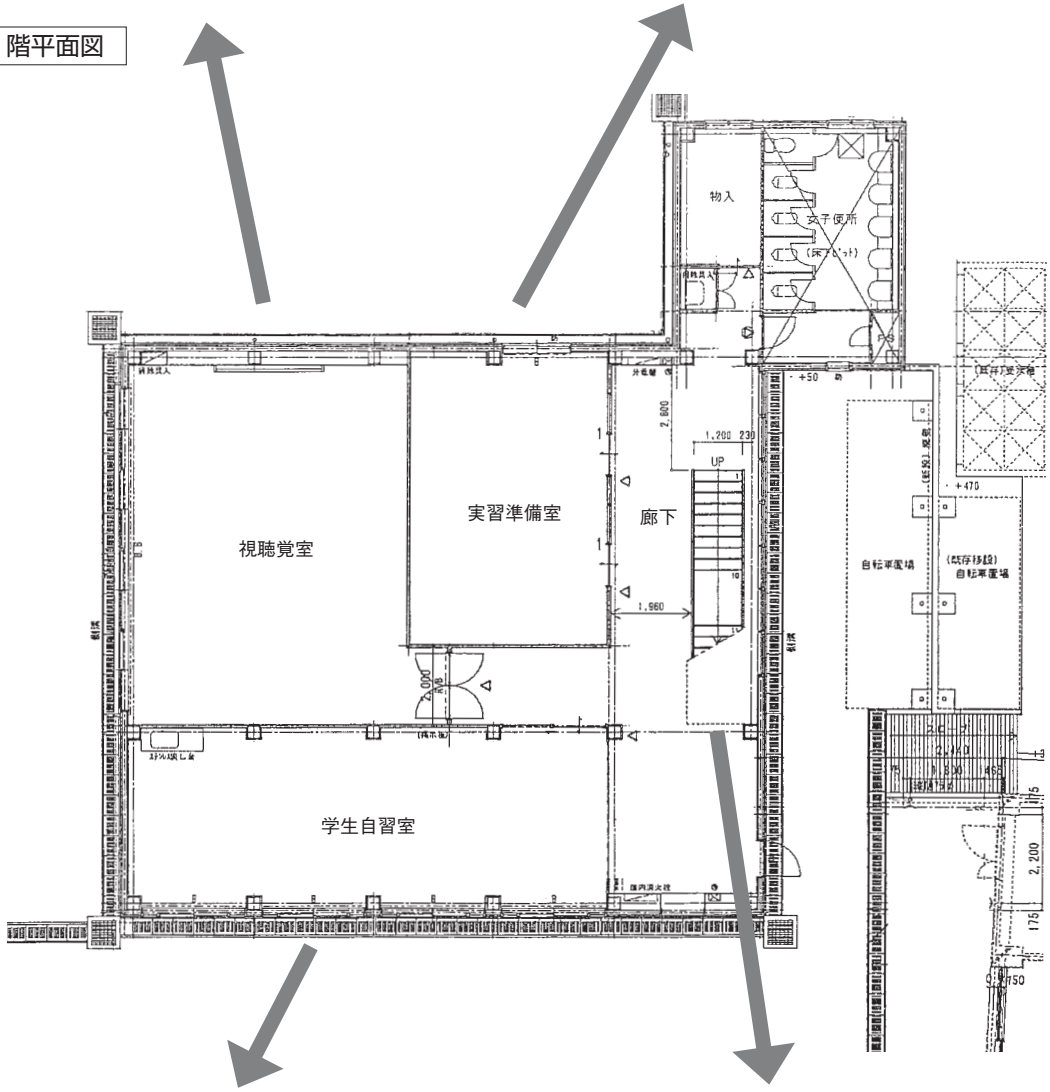
学院正門

学院増設部分見取図

視聴覚室

実習準備室

1階平面図



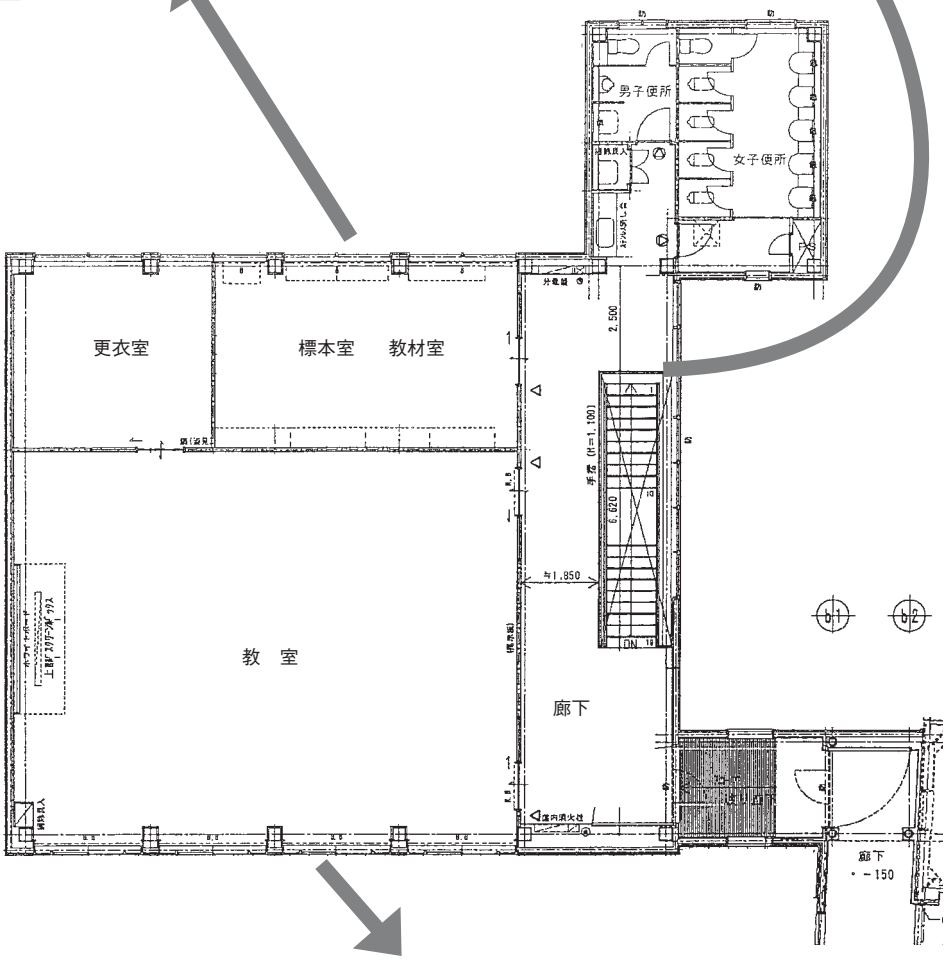
学生自習室

1階から2階への階段

標本教材室

２階から１階への階段

２階平面図



２階教室

「最新の審美・インプラント治療」
～審美と機能の調和を目指して～

— 熊本県歯科医学大会 —
創立100周年記念講演会

学術委員会

有意義な100周年記念講演となりますように

２月４日（日）熊本県歯科医師会館４階大ホールにおいて、熊本県歯科医学大会創立100周年記念講演会が開催された。「最新の審美・インプラント治療～審美と機能の調和を目指して～」と題して、山﨑長郎氏（東京都開業、SJCD インターナショナル会長）が講演され、300名を超える会員およびそのスタッフが参加した。４階大ホールに入りきれない方々のために、３階研修室では PC 映像のサテライト映写と音声の放送も行われた。

正確な診断と適応症の選択が重要

堤直文会長による開会の挨拶の後、まず、過去から現在に至るまでの氏の原宿デンタルオフィスにおける変化と歯科医院というハードウェアに対する考えから講演がスタートした。その後、ソフトウェア、つまり臨床歴30余年にわたる研鑽の歩み（米国研修、故 Dr レイモンド・キム氏との出会い、国内有数の臨床家の下での研修、SJCD 創立、歯周補綴から審美修復治療への変遷等）について話された。

本題に入り、審美修復治療・インプラント治療に必要不可欠な５つの要素、審美（esthetics）・機能（function）・構造（structure）・生物学（biology）・歯肉レベル（gingival level）について、「補綴治療の思考と指針」という観点から、補綴修復治療の分類に基づき、実際の治療例を提示し詳細に解説された。

また、最新のマテリアルとその修復手法について、

① Composite ②Porcelain Inlay Onlay ③Laminate Veneers ④All Ceramics ⑤Metal Ceramics

のそれぞれの項目ごとに、様々なメーカーの多数の製品についてコメントを述べられた。とくにこれからは接着とレジン系のセメントが重要であると説かれ、最新の補綴マテリアルであるジルコニアに関しての多くの情報を提供された。

午後に入り、審美のガイドラインとして、顔貌・口唇・歯列・歯牙について、額や眉、鼻下点、オトガイ、下口唇下縁、瞳孔線、咬合平面、正中線などの指標を下にしたゴールデンバランス、ゴールデンプロポーションの重要性を解説された。

インプラントに関しては、上顎中切歯２本の抜歯即時インプラントを骨レベルの減少を考慮して、１本ずつ時間差をおいて埋入するという興味深い症例を提示された。

氏は、歯科の分野において審美という概念を広く一般に知らしめ、多くの歯科医師の未来に福音をもたらした。

しかし、その審美という華やかさの背景には、正確な診断と適応症の選択、そして何より咬合治療における卓越した知識と技術が存在していることを見逃してはならないということを再認識させられた内容であった。

以上、かなりの時間の制約があったにもかかわらず、私たちは補綴治療における膨大な情報を得ることができた。熊本県歯科医師会創立100周年記念として、会員およびそのスタッフにとって非常に有意義な講演会であった。

300名を越える会員、スタッフの参加

（学術　藤本　　博）

障害児(者)口腔ケアリーダー研修会開かれる！

センター・調査・ＩＴ委員会

講師の松岡理事

１月20日（土）午後３時から障害児（者）口腔ケアリーダー研修会が、県歯会館３階研修室で行われた。

司会進行をセンター・調査・ＩＴ委員会の松本委員長が務め、小島副会長の挨拶で始まった。

小島副会長は、「障害児（者）の口腔ケアは、口腔のプロである我々にとっても大変な仕事であります。しかし、社会的な責務ということを考えれば避けて通れない問題でもあります。本日の研修によって出来る限りの情報を身につけて頂き、各地域の障害児（者）の口腔ケアに歯科界が積極的に取り組んでいけるように、リードする立場となって頂きたい。」と述べられた。

つづいて、松岡理事の講演が行われた。

障害児（者）の大まかな分類とその割合、特に自閉症の細かな分類、歴史的な変遷などについて丁寧に説明された。

講師の前淵D.H

なかでも、1960年代にアメリカのノースカロライナ州で、ショプラー教授らによって研究・開発されたＴＥＡＣＣＨプログラムは、「人権」を尊重する理念を大切にしており、自閉症の障害特性に配慮した環境づくりにおいて優れた成果を上げている。ということで、大変興味深い内容であった。

つぎに、口腔保健センターの前淵隆子歯科衛生士から、障害者の対処で、現場ではどのような工夫がなされているかについて、三気の里での実例を挙げながら詳しく説明があった。

最後に山口八重子衛生士と高柳徳子衛生士から、口腔保健センターでの自閉症児の歯科治療について、多くの写真を使って説明があった。

障害者の対応はデリケートに

今回の研修会では、最もデリケートな対応が必要な自閉症にスポットを当てて講演が行われた。しかし他の障害に関しても、口腔ケアは献身的な取り組みからスタートしなければならないので、その社会的な解決には、いかに多くの歯科医療関係者が、進んでこの業務に参画してくださるかにかかっていると思われる。

（センター・調査・IT　杉本　雄二）

郡市会だより

希望の持てる年になるように！

— 新年会 —

球磨郡

例年になく暖かい１月20日（土）午後６時より人吉市「金七」にて、球磨郡歯科医師会新年会が行われた。

来賓として金子恭之衆議院、松村祥史衆議院議員、松村昭県議、人吉球磨技工士会柳本忠臣会長、人吉球磨衛生士会長林玲子会長が参加された。

開会後、向江会長が昨年の保険改正には失望したが、本年が希望の持てる良い年であることを祈念すると挨拶され松村祥史議員の乾杯の音頭、その後懇談において、会員相互の親睦はもとより技工士会、衛生士会との親睦、現状などの語り合いなど、従来入手が稀な情報収集が果たせた。

来賓の先生と様々な情報交換

今回はゲスト初参加の新年会であったが、終始和やかな雰囲気に包まれ、盛会のうちに終了した。

（高野　秀司）

家族同伴でのアットホームな雰囲気で!!

— 新年会 —

水俣芦北郡市

新春より例年にない記録的な暖冬が続いている１月26日（金）午後７時より、湯の児温泉の昇陽館において水俣芦北郡市歯科医師会新年会が開催された。

先ず始めに野村健一郎会長より年始の挨拶があり、伊藤俊一会員の乾杯で開宴となった。

毎年恒例となっている新年会は、先生方の縁の下の力もちとして家事や家族の健康を考えた食事等、大変お忙しい奥様方の日ごろの労をねぎらうために、家族同伴でのアットホームな雰囲気で行われている。

また今回は大先輩でまだまだ現役で元気に診療にたずさわれておられる宮島清子会員にもご出席頂きました。これからもますますお元気で我々会員のお手本としていつまでもご指導ご鞭撻して頂きますよう宜しくお願いします。

奥様方も日頃のストレスを発散された

奥方達は上げ膳据え膳で美味しい料理と美酒を楽しみ、口もなめらかになり日頃のストレスを発散されている様子だった。

先生方も酒を囲んで日頃の診療や家族のこと、今年の抱負などで大いに盛り上がり、今年一年皆様の健康と歯科医師会のさらなる発展を願い、若江秀敏会員のしめの言葉でお開きとなった。その後温泉に入られる会員がいたりと終始和んだ雰囲気で各々会場を後にした。

（鬼塚　友文）

郡市会だより

年の始めの大合唱

— 新年会 —

人吉

暖冬に地球温暖化を感じる中、１月12日（金）人吉市のアンジェリーク平安にて、人吉市歯科医師会新年会が行われた。熊埜御堂会長の年頭の挨拶にはじまり、花田桂助会員の傘寿、佐々木満博会員の還暦のお祝い、武末和貴前会長への感謝状が、熊埜御堂会長より贈呈された。歓談中は毎年恒例のジャンケンゲームがおこなわれ、優勝は熊埜御堂会長で、後のビンゴゲームも豪華景品争奪でもりあがったが、一番盛り上りを見せたのは岩崎俊亮会員の作詞作曲による「さそいの道は帰る道」の発表で、会員一同岩崎俊亮会員のハーモニカにあわせて大合唱を行い新年会をおえた。今回は「さそいの道は帰る道」の詩を添えて報告とさせていただきます。今年は歯科界にとって良い年となりますように。

丸わくはハーモニカ伴奏の岩崎俊亮会員

さそいの道は帰る道

岩崎俊亮　作詞、作曲

1　朝陽に映える市房の　麓にそよぐ風涼し
　葉ずれの波は爽やかに　清き想いのふる里よ
2　野に咲く花の香りして　やがて実のなる秋もきて
　流れる霧の相良路に　さそいの路は帰る道
3　夕日に沈む紫の　連なる山のふところに
　抱かれし人のやさしさは　久しき川の流るるままに

（瀬戸　雄行）

今年こそよい年に

— 新年会 —

八代

１月６日（土）午後５時より恒例の新年会が八代ロイヤルホテルにて開催された。本年度は来賓、会員、家族あわせて約80名の参加があり大変な盛り上がりを見せた。

中川専務理事の司会で進行され、まず増田会長が「現在、社会情勢は景気回復基調にあると云われるがその実感に乏しく、歯科界を取り巻く環境もさらに厳しくなっているので、団結して今年を頑張りましょう。」とあいさつがあり、来賓の方々の紹介後、上田忠、吉田公典、両県歯副会長が挨拶を述べられた。

その後、澤田稔会員の乾杯の音頭により祝宴が始まり、射的ゲームは子供たち（子供のようないい年のおじさんを含む）で賑わっていた。ステージではマジシャン大空港氏によるマジックショーや豪華な賞品が当たるお楽しみ抽選会等が行われた。会場内は熱気であふれ、また会員相互の今年にかける会話があちこちで聞かれた。こうして楽しい時間はあっと言う間に過ぎ、午後７時30分、小島博文県歯副会長の一本締めで閉会となった。

熱気あふれる新年会会場

今年度より担当となった岡田理事を中心とした厚生委員会の先生方のお世話で活気に満ちた新年会となった。　（中山　万弘）

郡市会だより

参加者の活躍を祈念

― 新年会 ―

１月26日（金）午後６時30分から、司ロイヤルホテルにて、新年会が開催された。

増田会長は開会のあいさつで、昨今の社会情勢や特に歯科診療報酬の点数改正等に代表される歯科会の実情について、また、今年予定されている参議院選挙について話した。来賓のあいさつでは、堤県歯会長から今年も昨年同様歯科界にとって苦しい環境におかれていることに変わりがないこと、またこのような中でも地域に保健活動並びに医療活動になお一層貢献していくため活発に活動していきたい旨のお話があった。また来賓として野田、林田両衆議院議員、島津玉名市長から、それぞれの立場での今年の抱負と課題が話しがあり、また、新たに赴任された舛井有明保健所長の乾杯のご発声にて懇談となった。

舛井有明保健所長の乾杯

その後、毎年恒例のビンゴゲームを楽しみ、今年一年の参加者一同の活躍を祈念する新年会となった。

（加藤　恭裕）

玉名郡市

スポーツ歯学の理解を深めた

― 学術講演会 ―

講師の藤本委員

１月24日（水）、玉名市文化センターで、（社）玉名郡市歯科医師会学術講演会として、熊本県歯科医師会から藤本学術委員をお招きして、マウスガードについての講演会が行なわれた。スポーツ歯学での、顎口腔領域の外傷頻度、スポーツの種類、各外傷の具体例と治療法について説明があった。マウスガードは、外傷の頻度と程度を下げる。高校ラグビーの公式戦では義務化されているマウスガードの作製方法について説明があった。熊本県歯科医師会では、積極的にマウスガードの使用を勧めていくために、ホームページで作製してもらえる歯科医院を公開していくということであった。今回の講演会は、そのためのもので、出席者全員が掲載希望となり、作製費用は、なるべく5000円程度でしてもらいたいと、県歯からの依頼があった。この講演会を機会に、玉名郡市会員へのスポーツ歯学の理解が深まったことと思われる。

（桐野　美孝）

郡市会だより

楽しく良い年をめざして

― 新年会 ―

鹿本

まだ寒さ厳しい１月６日（土）午後４時より山鹿ホテルにて新年会が行なわれた。来賓に参議院議員三浦一水議員、県歯科医師会から堤会長、中嶋常務理事をお招きした。

原賀会長より年頭挨拶の後、堤会長より新県歯会館の件や昨年の日本歯科医師会の活動と今後の展望についてのお話があった。続いて中嶋理事による社保研修会が行われた。

新年例会後、午後６時よりひき続き、堤会長、中嶋理事、三浦一水議員はじめ井上鹿本郡市医師会会長、江上鹿本郡市薬剤師会会長、中嶋山鹿市長を来賓に迎え新年会が行なわれた。

100周年式典を予定しています

堤会長の乾杯の発声で祝宴がはじまり宴も半ばになると皆席を立ち、あちこちで賑やかに話に花が咲いて酒を飲みかわされた。

最後は河上先生の万歳三唱で閉会となった。今年一年が今回の新年会のように、楽しく良い年になることを願う。

（高水間　奨）

心肺蘇生法 G2005への対応

― 研修会 ―

荒尾市

１月10日（水）午後７時30分より荒尾市歯科医師会館において１月例会に先立ち、心肺蘇生法実技研修会が開催された。

当日は荒尾消防署の方より「心肺蘇生法 G2005への対応」と題して、新ガイドラインの概要及びこのガイドラインに沿った BLS の手順について解説して頂いた。その後マネキンを使って人工呼吸、胸骨圧迫、AED の操作などの実習を行った。昨年度も同様の研修を実施したが、今回実習を行うことでさらに理解を深めることができた。我々歯科医療人は、このような救急蘇生が必要な場面にいつ遭遇してもおかしくないが、高頻度に行う処置ではないためつい忘れがちになっている。しかし万一の場合に落ち着いて的確な対処をするためには、定期的な研修が必要であると感じた。

心肺蘇生法を実習

（白井　徹郎）

ニューグルメハンター

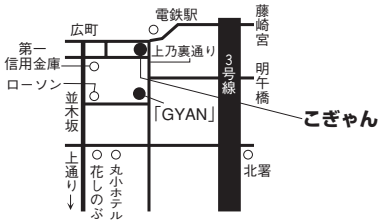
上乃裏こぎゃん

営業時間　17：30～翌１：00
（オーダーストップ24：00）
住　　所　熊本市南坪井７-13
TEL096-352-8820

○電鉄駅から上通り方面へ入ってすぐの上乃裏通りにあります（GYAN は姉妹店です）。
○お客様の年齢層は幅広く、30～60代のお客様が男女共に多く、和食も洋食もあり、炭焼もおすすめです。素材にはこだわっており、お客様のわがままにも出来る限り応えます。○焼酎・日本酒・ワインと取り揃えてあります。○気さくでユーモアたっぷりの大将に会いにくるお客様も多く、お一人様でも気軽にたち寄れます。

和の雰囲気を大切にしておりますのでお気軽にご利用下さい。　（Ｋ.Ｍ）

収容人数は
１Ｆ　カウンター７名から８名
２Ｆ　24名
３Ｆ　２名席×２
コース料理は3675円～
ご希望に応じてご用意いたしております。



会務報告

会　務　報　告

自　平成19年1月26日
至　平成19年2月16日

所　管	日　付	摘　　要	出　　席
総　務	１月26日	玉名郡市新年会（司ロイヤルホテル）	堤会長、上田副会長、浦田専務理事
	27日	100周年記念史編集委員会　（１）口腔保健センターについての原稿依頼（岩切先生）（２）各年度毎の原稿・校正・レイアウト等の検討	前野委員長ほか全委員
		熊本市新年懇親パーティー（ホテル日航）	堤会長、中島事務局長
	29日	支払基金幹事会（支払基金）	堤会長
		支払基金新年懇談会（熊本市）	堤会長
	30日	第12回理事会　（１）新入会員の承認　（２）平成18年度各会計補正予算（案）　（３）平成18年度新設会計収入支出予算（案）	堤会長ほか竹下理事を除く全役員
	31日	県歯科技工士試験委員会（県庁）	小島副会長、松岡・伊藤・高松理事
		熊本市中央支部新年会（熊本市）	堤会長、浦田専務理事
	２月１日	第１回日歯次期診療報酬改定検討チーム（日歯会館）	堤会長
		栗原幸紘会員告別式（熊本市）	上田副会長

所　管	日　付	摘　　要	出　　席
総　務	2月1日	対外的広報活動推進プロジェクト　（1）100周年事業における外部への広報活動　（2）県下一斉ボランティア　（3）イベントの実施	渡辺常務理事、竹下理事を除く全理事
	2日	労働保険事務組合・委託事業所監査	岡書記
	3日	監事月次監査　（1）月次監査	前野・片山監事
	5日	第24回常務理事会　（1）熊本歯科衛生士専門学院学則の一部改正（案）　（2）平成18年度各会計補正予算（案）　（3）平成18年度後半（8月～1月）の会務報告（案）	堤会長ほか常務理事以上役員
	6日	県高齢者保健福祉推進委員会	小島副会長
		県医療・保健・福祉団体協議会理事会（ＫＫＲホテル）	上田副会長
	7日	日歯予算決算特別委員会（日歯会館）	堤会長
	8日	第19回日歯常務理事会（日歯会館）	堤会長
		第9回日歯戦略会議（日歯会館）	堤会長
		県保健医療計画打合せ	浦田専務理事、渡辺常務理事、松岡・八木理事
	10日	九州各県会長会（大分全日空ホテル）	堤会長
		九地連協議会（大分全日空ホテル）	堤会長、小島副会長、浦田専務理事、中嶋常務理事、中島事務局長
		100周年記念史編集委員会　（1）資料編の編集作業と打合せ　（2）百周年全体についての把握　（3）コロニー印刷所との協議のための打合せ	前野委員長ほか全役員
	11日	九州各県事務局長連絡会（大分県歯会館）	中島事務局長
	13日	県保健医療推進協議会計画検討専門委員会（県庁）	浦田専務理事
		本会事業・会計監査	前野・片山監事、堤会長、浦田専務理事、西野常務理事、中嶋代表取締役
	14日	第2回熊本県労働保険事務組合連合会理事会（熊本ホテルキャッスル）	堤会長
		保健医療計画打合せ会	浦田専務理事、渡辺常務理事、八木・松岡理事
		100周年記念史編集委員会	前野・上元正副委員長
		会館建設会計部会	水野部長、西野・合沢・河上部員
	15日	第20回日歯常務理事会（日歯会館）	堤会長
		日歯機構改革検討委員会第6回ワーキンググループ（日歯会館）	堤会長
学　術	2月3日	100周年記念・熊本県歯科医学大会講師打合せ	小島副会長、伊藤理事他3委員
	4日	100周年記念・熊本県歯科医学大会　「審美・インプラント治療」山崎長郎講師（出席者：280名）	堤会長、上田・小島副会長、浦田専務理事、伊藤理事ほか学術委員会5委員
	8日	荒尾市歯科医師会学術研修会（荒尾市医師会館）　マウスガード研修会	藤本委員
	10日	熊本市・宇土郡市歯科医師会合同学術研修会　マウスガード研修会	片山公則会員、伊藤理事、牛島副委員長
社　保	1月27日	社会保険個別相談会（相談者：5名）	中嶋常務理事、勇理事、前田委員長ほか6委員
		社会保険委員会　（1）保険だより　（2）点数アップの心得　（3）掲示文書	中嶋常務理事、前田委員長ほか7委員
	2月6日	保険個別指導（県庁）	勇理事
	8日	保険個別指導（県庁）	中村副委員長
	15日	保険個別指導（ウェルシティ）	中嶋常務理事、前田委員長、田中副委員長

所　管	日　付	摘　　要	出　　席
地域保健	1月31日	地域保健委員会　（1）各郡市地域保健担当者会　（2）地域歯科保健の実態調査	八木理事、川瀬委員長ほか全委員
	2月1日	県健康づくり県民会議幹事会（県庁）	八木理事
	9日	地域保健委員会　（1）各郡市地域保健担当者会打合せ	八木理事、川瀬委員長ほか全委員
	15日	日本銀行事業所健診（日本銀行）	秋山清会員
	16日	日本銀行事業所健診（日本銀行）	高木雅子会員
厚生管理	2月7日	厚生・管理小委員会	竹下理事、瀬井委員長、池嶋副委員長
	9日	日歯歯科医師青色申告会全国連合会評議員会（日歯会館）	竹下理事
広　報	1月31日	広報小委員会　（1）「熊歯会報」2月号・第2回校正	宮坂理事、加藤委員長、立本副委員長
	2月14日	広報委員会　（1）「熊歯会報」3月号・編集	宮坂理事、加藤委員長ほか全委員
学　歯	2月6日	熊本県学校保健会第2回総務委員会並びに財源検討委員会（熊本県庁）	堤会長、渡辺常務理事
	15日	県ＰＴＡ災害見舞金安全会判定審査会（県総合福祉センター）	谷口国保理事
	16日	学校歯科委員会	渡辺常務理事、田上委員長ほか5名
医　対	2月9日	医療対策委員会　（1）医療相談　（2）医療対策講演会　（3）委員会研修会	犬束理事、片山委員長ほか全委員、前野監事
調査IT	2月1日	障害児（者）口腔ケア地域リーダー育成事業実習見学会	松岡理事
	2日	センター・調査ＩＴ委員会　（1）歯科におけるレセプトオンライン　（2）障害児（者）口腔ケア地域リーダー育成事業見学会　（3）障害者歯科診療出務者の検討	松岡・高松理事、松本・小野委員長ほか全委員
	3日	障害児（者）口腔ケア地域リーダー育成事業実習見学会（口腔保健センター）	井手委員
	7日	第4回日歯ＩＴ化推進委員会（日歯会館）	堤会長、高松理事
	8日	障害児（者）口腔ケア地域リーダー育成事業実習見学会（口腔保健センター）	松岡理事
	10日	障害児（者）口腔ケア地域リーダー育成事業実習見学会（口腔保健センター）	規工川副委員長
調査IT	15日	障害児（者）口腔ケア地域リーダー育成事業実習見学会（口腔保健センター）	松岡理事
学　院	1月26日	学院一般一次入学受付締切（出願者：14名）	
	2月3日	学院一般一次入試	上田学院長ほか5委員
		学院運営審議会	堤会長、上田学院長ほか7役員
		学院教務委員会	上田学院長ほか7委員
	7日	学院入試委員会	上田学院長ほか5委員
センター	1月28日	介護者歯科実技研修会（参加者：36名）	松岡理事、松本委員長ほか3委員
	2月3日	県栄養士会生涯学習研修会（県健康福祉センター）	松岡理事
	10日	介護者歯科実技研修会（参加者：10名）	松岡理事、松本委員長ほか1委員
	11日	介護者歯科実技研修会（参加者：22名）	松岡理事ほか2委員
	12日	介護者歯科実技研修会（参加者：35名）	松岡理事、松本委員長ほか1委員
国　保	2月1日	国保理事会	原田副理事長ほか5役員
	16日	国保組合会計監査	堤理事長ほか全役員
		国保理事会	堤理事長

CASIO

歯科医療のコミュニケーションに新しい流れ!

スタディグループ

講 習 会

学 会 etc.

手軽にどこでも簡単投映

世界最薄*だから軽くてコンパクト しかもPCレスで使えて明るく高画質

*2007年2月現在

医療機関において、皆で画像を見ての会議や研修はごく一般的に行われています。『DLP方式』のプロジェクターは医療で重要な『赤』の再現性に優れています。

USBメモリー装着時イメージ

SUPER SLIM PROJECTOR

スーパースリムプロジェクター

XJ-S35 (2000lm)

メーカー希望小売価格 ¥248,000（税込¥260,400）

- B5ファイルサイズ、薄さわずか32mm（最薄部）
- 医療で重要な『赤』の再現性に優れたDLP方式プロジェクター
- PCレスでプレゼン可能 ➡ USBメモリー（市販品）を直結
- USB無線アダプター（別売）を使えば➡PCとプロジェクターをワイヤレス接続

紙ドキュメントから立体物まで 高画質なマルチプロジェクションカメラ

カルテをスキャン、医学書を拡大等 —— 多彩に活躍

- カルテをスキャンすれば簡易な電子カルテ機械として使用でき、電子カルテ導入のコストをかけずに実現できます
- 分厚い医学書のようなコピーができない物も、拡大投影できるので、研修や打ち合わせ等にも活用可能です

デジタル書画カメラ

YC-400

メーカー希望小売価格
¥258,000（税込¥270,900）

プレゼンカメラとして

- 書類、医学書を高精細で投映
- 拡大も自由自在
- 立体物も投映可能

スキャナとして

- 書類から模型etc.書画台に置くだけで自動撮影＋PCへ画像保存
- 保存画像の拡大も自由自在

XJ-S35とUSBケーブルで直結可能

http://casio.jp/projector/

カシオ計算機株式会社　熊本営業所
〒861-8028 熊本県熊本市新南部4-7-38 オーエムビル5F　TEL：096-386-5161

4 行事予定

4日（水）	第１回常務理事会
9日（月）	学院始業式
10日（火）	第44期生入学式
	役員合同勉強会
17日（火）	第２回常務理事会
24日（火）	第１回理事会

編集後記

暖かな陽気が続いています。おかしい。2月といえば、昔はもっと寒さ真っ盛りだったように思うのですが。異常気象の影響も、いろいろと現れているようで、地球はどうなってしまうのかちょっと不安に思ったりもします。

スキー場の周辺などは、別の意味で冷えこんでいるとか。患者さんの冷えこみも、せめて三寒四温と推移して欲しいと、切に思うこの頃であります。

（K.D）

8020 歯からはじめる。笑顔ヘルC

発行日／2007年3月15日発行
発行人／堤　直文
発行所／社団法人　熊本県歯科医師会
〒860-0863　熊本市坪井2丁目4-15
TEL 096-343-8020
FAX 096-343-0623
URL http://www.kuma8020.com
印刷所／コロニー印刷